

第2回

1 文化的資料からその時代の様子を考える問題

- 問1 (2) 「鳥獣戯画」の有名な場面に描かれている猿とカエルが当時流行していたどのような仏教を風刺しているものなのか絵から読み取る問題。
念仏(南無阿弥陀仏)と題目(南無妙法蓮華経)を混同している受験生が多かった。
- 問2 (3) 正確な年代把握ができているかどうかを問う出題。
- 問3 (1) 「叡山」という言葉から比叡山を想起し、延暦寺という答えを導き出す。
(2) 前ページ写真の旗に「東照宮」とあることから徳川家康を連想して欲しかった。
(4) 写真を見て、大仏が金属で出来ていることに気づき、戦争中になぜ軍隊が持って行ったのかを考えていく。

2 風船爆弾を題材にした問題

- 問2 (1) 偏西風を平仮名で書いている受験生が大変多かった。
(2) 戦争において、女学生が動員されるということを想起して答えを導き出す。

3 日本の農業、水産業、工業

- 問1 (3) TPP重要5項目の農作物については、2015年に話題となり、難しいかも知れませんが、時事問題としての出題となります。
(4) テーマや条件を設けて、日本の農業についての考えを書かせる問題。論理的な整合性がとれているかどうか採点のポイントである。また、問題文にある「日本の食料自給率の変化にも触れながら」という部分を忘れていて、また海外の農作物が安いということに言及されていない答案が目立った。
- 問2 (2) このころに起こった出来事を想起し、遠洋漁業が衰退した理由を取捨選択していく。2つの点とも指摘する必要がある。
- 問3 (1) 時事問題としてマスメディアの話題となっていました。
- 問4 (2) 天然せんいと化学せんいの具体的なものを区別させる問題です。
(3) 問題文に「下のグラフから分かること」とあるように、グラフをそのまま読み取り、記述する問題です。
(4) 「せんい製品の価格」「労働者への人件費」という設問文から与えられた視点と、(3)の解答を結びつけて日本のせんい工業について考える問題です。せんい製品の価格は「安い」、労働者への人件費は「日本では高い」ということを思いつくかどうか鍵となります。この点を説明していく上で、論理的整合性があれば、表現の仕方は柔軟に対応し、採点した。

4 日本の選挙制度と一票の格差について

- 問1 日本の選挙制度に関する知識を問う。2003年の法改正で期日前投票が解禁になっている。
- 問2 日本の選挙制度に関する時事問題。18歳から投票権が与えられるようになった。
- 問3 (2) 一票の格差を自分の言葉で説明させる問題。〔表1〕の有権者数に地域差があることにきづき、そのことが〔資料1〕の憲法が保障する「法の下での平等」(平等権)に反することについて言及していく。
(3) 一票の格差の問題の原因を理解し、その解決策を解答させる問題。時事問題に対する理解や、有権者数と議員数のバランスを整える方法についての合理的な説明が出来るかを問うている。
別解として、「有権者数に合わせて選挙区割を変更する」など。